

## B キャリア教育の観点と能力

### (1) キャリア教育とは、生き方指導

生徒が社会で自立し共生する力を身に付け、生涯を通じて自分らしい生き方を実現することができるよう、社会的・職業的自立の基盤となる4つの能力（人間関係形成能力、情報活用能力、将来設定能力、意思決定能力）や態度を育てていく。

### (2) 育みたい4つの能力

- ① 人間関係形成能力
- ② 情報活用能力
- ③ 将来設計能力
- ④ 意思決定能力

## C ESDの観点とSDGsの各項目

### (1) ESDとは「つながり」

「つながり」をキーワードとして、持続可能な社会の担い手となるために必要とされる知識（例えば「人間と人間、自然や社会と人間とのつながり」への自覚）、スキル（例えば「総合や要約を通して考え、その考えを踏まえて行動するためのスキル」）及び態度・姿勢（例えば「共感や共有を通して、他者と連携・協力」しようとする態度・姿勢）を育てていくこと。

### (2) SDGsについて

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2016年から2030年までの国際目標として、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として残さないことをスローガンに掲げている。教育については、「教育がすべてのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している。

### (3) SDGsの17ゴール（項目）について



## A 学校教育目標等

### 学校教育目標

優れた教育機会を提供し、社会で自立し共生する力を育む

### めざす生徒像

- (1) 基本的生活習慣を確立し、健康・安全で活力ある生活を送ることのできる生徒
- (2) 学ぶことや働くことの意義を理解し、自ら学び考えることのできる生徒
- (3) 自己に与えられた役割を理解し、それを果たそうと努力する生徒

### めざす学校像

- (1) 生徒が様々な経験を通して、成長することができる学校
- (2) 教職員が常に新しい課題に取り組み、解決しようとする学校
- (3) 地域のニーズや期待に応えることができる学校
- (4) 生徒が誇りをもって通える学校

## 令和5年度留辺蘂高等学校 キャリア教育の全体図 (SDGsについて)

## D 本校の実践

### (1) 本校のこれまでの実践・実歴

- ① 2013（平成25）年6月にユネスコスクール認定
  - 「環境科学」を中心に環境論の授業計画と策定実施を行う。
  - キーワード：言語活動、科学技術コミュニケーション、地域・人とのつながり
  - 設定課題：「教室の中にある身近なゴミ問題からグローバルな環境科学へ」
  - 5本の柱：(1)コミュニケーション能力、(2)国際理解、(3)環境教育、(4)福祉教育、(5)保育・幼児教育
- ② 2015（平成27）年度 第6回ESD大賞受賞（道内初）
  - 環境科学の河川実習、無加川での生態系調査
- ③ 2018（平成30）年度 ESDカレンダーの作成
- ④ 2019（平成31）年2月 北海道教育実践表彰
- ⑤ 2021（令和3）年度～2022（令和4）年度
  - ・ 養蜂実習（自然環境研究）
  - ・ 白花豆の栽培及び調理実習（食文化）
  - ・ キッチンカーを活用した地域創生（探究）
  - ・ 高校生ビジネスグランプリへの参加（簿記）
  - ・ ドローンを活用した地域産業（産社）

### (2) 本校の課題

- ① SDGsと授業内容をどのように関連付けるか
- ② 他教科との横断的な学習のさらなる推進
- ③ 地域とのつながりの強化
- ④ 教職員がSDGsに対する理解を深める

### (3) SDGsと各教科の年間指導計画

- ① 各教科の年間指導計画内にSDGsのアイコンを入れる

※ただし、本校の教育活動がSDGsの内容項目の型にはまらないよう、弾力的な編成ができるよう留意すること。

### (4) 評価についての留意事項

- ① 年2回行う。
- ② 目標・指導・評価は一体であることを意識する。
- ③ 意図的な「指導の工夫」によって達成されなければならないことに、留意すること。

# 本校で取り組むキャリア教育とESD教育で育む能力 全体構造

| キャリア教育で育む能力 | A 人間関係形成能力  |   | B 情報活用能力   |   | C 将来設計能力   |  | D 意思決定能力   |  |
|-------------|---|---|--|---|--|--|--|--|
|             | A-1 自他の理解能力   | A-2 コミュニケーション能力   | B-1 情報収集・探索能力  | B-2 職業理解能力  | C-1 役割把握・認識能力  | C-2 計画実行能力   | D-1 選択能力   | D-2 課題解決能力   |
|             | ①自分の長所や欠点に気づく<br>②話し合いなどに積極的に参加する<br>③自分と異なる意見も理解しようとする   | ①相手の立場に立って考え行動しようとする<br>②異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。<br>③コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 | ①自分に必要な情報を探ることができる。<br>②気づいたこと・わかったことをまとめる。<br>③個人・グループで発表する。<br>④職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる。 | ①施設・職場見学等を通して、働くことの大切さや苦労が分かる。<br>②学んだり体験したりしたことと、生活や職業との関連を考える。<br>③社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し、習得する。 | ①社会生活には色々な役割があることやその大切さが分かる。<br>②仕事における役割の関連性や変化に気づく。<br>③将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 | ①将来の夢や希望を持つ<br>②計画づくりの必要性に気づき、作業の手順がわかる。<br>③憧れとする職業を持ち、今しなければならぬことを考える。<br>④職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。<br>⑤将来設計、進路設計の見直し再検討を行い、その実現に取り組む | ①自分の好きなもの、大切なものを持つ。<br>②自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。<br>③多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で進路や学習を主体的に選択する。<br>④進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性についての検討をする。 | ①将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。<br>②将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む。<br>③自分を生かし役割を果たしてく上での様々な課題とその解決策について検討する。 |
| ESDで育む能力    | ①コミュニケーション能力<br>②他者と協力する態度<br>③つながりを尊重する態度<br>④進んで参加する態度  |   | ①発表する力<br>②情報を集め活用する力<br>③職業に関して理解する力  |   | ①未来像を予測して計画をたてる力   |  | ①多面的、総合的に考える力<br>②批判的に考える力<br>③自己決定したことをやりきる態度   |  |
| SDGs        | (1) 項目を絞られると教科によっては実施が難しいので、自由に選択する形にする。<br>(2) 年間指導計画等にSDGsのアイコンを入れる。  |   |  |   |  |  |  |  |
| 具体的授業場面例    | ①コミュニケーショントレーニング<br>a. ジョハリの窓<br>b. ウェビング<br>②各種発表<br>③討論<br>④協同作業  | ①対話的な学習の場面<br>②マリア幼稚園、さかえ保育園との連携<br>③介護福祉施設との連携                                   | ①辞書・辞典を用いた調べ学習<br>②本・新聞等での調べ学習<br>③インターネットを用いた調べ学習<br>④職場見学・職場訪問<br>⑤各種発表                              | ①施設・職場見学<br>②進学・就職相談会<br>③租税教室などの外部講師活用<br>④職業や社会規範、マナー等に係る授業(手紙の書き方、文章、面接練習等)                        | ①社会生活についての学ぶ場面<br>②各種仕事における理解を深める場面<br>③何らかの役割を与え、取り組ませる場面<br>④計画を立てさせ、実施させる場面         | ①将来の夢や希望についての学んだり、書かせたりする場面<br>②計画を立て、それを実行する手順を学ばせる場面<br>③その計画の見直しをさせる場面  | ①何かを選択させる場面<br>②その選択について検討させる場面  | ①課題を設定する場面<br>②それを解決する場面<br>③解決策について検討させる場面  |
| 計画・評価       | 教員 (1) 年間指導計画に2点盛り込む… ①キャリア教育で求められる4つの能力、②SDGsの各項目 (2) SDGsふりかえりシート(年2回)<br>生徒 (1) ポートフォリオ評価…【留意事項】 ①SDGsの17項目のうち、教師があらかじめ選択したものをを用いる。<br>②内容項目を精査し、生徒の変容を把握しやすいフォーマットを用意すること。<br>③自己変容の変化がわかりやすい評価時期を設定すること。 |   |  |   |  |  |  |  |